

現場レポート ～油と刺激物にはご用心！の巻～

【オイルフェンス設置訓練に同行】

こんにちは～！河川女子（チーム米代）の「ハチコ」です。
平成 27 年 10 月 20 日、小坂町にある小坂鉦山事務所付近で行われた
「オイルフェンス設置訓練」に同行させていただきましたので、その様子をレポートします！

長い長い道のりを経て現地に到着です！…ん？なんか雲行きが怪しいぞ…？
ザアアアア！！（雨です…orz）果たして訓練は無事できるのでしょうか！？
…と、その前に！まずは大事な大事な腹ごしらえです（☆▽☆）

訓練場所近くにあるレストランで名物黒鉦カレーをいただきまーす♪…しなかったのですが…。

数日前に親知らずの抜歯をした私…抜歯後の刺激物は危険(*_*)！！と判断し、
某係長が注文した黒鉦カレーを横目に温かいおうどんをいただきました（泣）



さて、お腹も満したところでさぁ訓練！…といきたいところですが、まだいきませんよ～（笑）
県や市町村、消防本部職員の皆さんが集まり講習会が開かれました。

お昼も食べて眠くな…いえいえ！私も皆さんと一緒に水質事故対応についてのお話や、水の汚れが
簡単に測定できる器具の説明などしっかり聞いてきましたφ(..)

一時間ほどの講習を終え、お待たせいたしました！雨もあがり、いよいよオイルフェンス設置訓練の
スタートです！！まず、“オイルフェンス”とは何かご存じでしょうか？簡単に説明しますと、河川などに
流れてしまった油をせき止めるものです（`ω´）覚えておきましょう♪では訓練開始です（`^´）ゞ

【オイルフェンス設置の手順】

- ① オイルフェンスの接続（ファスナーが付いているので状況に応じて連結が可能！）（写真-1）
端と端を合わせてファスナーを締めボタンをとめる→金具でベルトを固定→カバーをかぶせて紐で縛る
裏も同じようにして接続します。接続の際は複数で確認しながら作業します。
ジャーン！完成です！！（写真-2）私も実際に組み立ててみました！ドキドキ…（写真-3）
接続したオイルフェンスを運びます。（写真-4）私も一緒に運んでみましたが、これがお…重い…；；
- ② オイルフェンスの端にロープをつけ、支えがないとオイルフェンスが流されるので杭を打ちます。
- ③ ロープを対岸にえーいっ！と投げます。対岸と距離がある場合にはボートやロケットを使用するそうです。
- ④ 岸の方へ油を寄せるため、オイルフェンスは川の流れに対し斜めに張ります。（写真-5）
写真-2のように浮きが上、ヒラヒラしている方が下になるようにして張ります。
- ⑤ 杭にロープを結びますが、その際オイルフェンスが浮かないようにロープは杭の下のほうに結びます。
- ⑥ 上流に一本と、万が一油が流れたときのために下流にも保険で一本張ります。
- ⑦ 油は上にたまり、水だけが流れていきます。
- ⑧ “オイル吸着マット”と呼ばれる白い四角いマット（ふわふわしていました）で油を回収します。（写真-6）
- ⑨ オイルフェンスは一日～二日張っておきます。
設置訓練完了です（`^´）ゞ私も頑張りました！！



その他にも、簡易的な設置方法があるのでご紹介したいと思います(^_^)/
スミレイフェンス(写真-7)はオイルフェンスより軽く、少ない人数での設置が可能です。
浅い川や狭い水路での油を止めてくれます。

また、塩ビ管と土のうを固定し堰を作り、油の流出を防ぐ方法もありますよ～(写真-8)
オイルフェンスを張るかスミレイフェンスを張るかは現地の状況で判断するそうです！φ(..)ﾌﾞﾌﾞ

水質事故が起きると川の水が汚染され、お魚さんが死んでしまったりすることも…。
また水道水が使えなくなったり農作物への被害等、私たちの暮らしにも大きな影響が出てしまうんです(ノ泣)`
なので、事故を最小限に防ぐためにはこのような訓練が必要になってくるわけなんです！

今回、訓練の様子を間近で見たり実際に体験したりすることで防災意識がより高まりました。

雨が降り、一時はどうなるかと思いましたが絶好の訓練日和となってよかったです♪

参加された皆さんお疲れ様でした！

水質事故が起きないよう皆さんで大切な水を守っていきましょうね(*^_^*)

